

Gakugei
Album
2016



師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム



●写真上：明治34年(1901)の東京府(青山)師範学校(『創立六十年青山師範学校沿革史』より)
●写真下：『昭和六年度卒業記念写真帖 東京府豊鳴師範学校』より

【会期】2016.10.27(木)～11.8(火)

【時間】[平日] 8:30～21:30
(ただし11.2および11.4は8:30～17:00、11.8は13:00まで)

[土日祝] 11:00～18:00

【場所】東京学芸大学附属図書館 ラーニングコモンズ

【主催】東京学芸大学大学史資料室

【共催】東京学芸大学附属図書館

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室事務室 [電話] 042-329-7896





ご挨拶

大学史資料室主催の展示会「學藝アルバム」は、第4回を迎えました。今年度のテーマは、「師範学校の歴史をふり返る」です。教育は、いつの時代も、教師と児童・生徒を中心にしながら、これを取り巻く教育環境・社会環境と深くかわりながら展開してきました。

明治5年(1872)、明治政府は学制を發布し、「国民皆学」をめざし、翌6年東京府小学教則講習所を設立しました。これが東京学芸大学の起源です。その後、戦前の教員養成体制の変遷とともに名称は変わっていきますが、明治30年に高等師範学校、女子高等師範学校、師範学校による中等学校と初等学校の教員養成体制が確立されると、翌年に東京府師範学校になります。この学校はさらに東京府青山師範学校と改称され、後に設立された東京府女子師範学校、同豊島師範学校、同大泉師範学校などとともに、本学の前身となります。昭和18年(1943)、これまで東京府が設置していた師範学校は、一斉に官立(国立)となり、名称も東京第一師範学校、同第二師範学校、同第三師範学校に変わりますが、基本的な体制は継承します。

全国の師範学校は、昭和20年(1945)、第二次世界大戦の敗戦ののち、昭和24年の国立学校設置法の發布により、新製の学芸(教育)大学や学芸(教育)学部として再生します。このとき、東京学芸大学は、先の諸学校をもとに新たに発足しました。以上のように、東京学芸大学は、ある日突然設立されたわけではなく、東京府小学教則講習所設立から150年近い歴史をへて、今日の姿になったのです。今回の展示は、この東京学芸大学の前史である、師範学校時代に焦点をあてています。

今日、社会的に、学校、教員、教育学部、それぞれの存在意義が問われています。大学史資料室は、東京学芸大学の^{アーカイブ}歴史資料を通じて、今日の教育と教育環境を考え、未来を構想する使命をもっています。「歴史を学ぶことは、歴史から学ぶこと」でもあります。今回の展示が、見学者のみなさまにとって、本学の「師範学校」時代を学ぶとともに、現在の、そして未来の教育と教育環境・社会環境を考える機会になれば幸いです。

2016年10月27日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

大石 学

Gakugei
Album
2016

師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム

